

年長者指導者としての研修会

1. SSLとしてのあなたの機とは何か。
2. SSLとして どの様にそれと取組みをしなが。
3. どうすれば よいのだろうか。（解決法）
SSLは何を望み、何をしたがつていいのかどうか。
SSL-Sカウティングにだしてどんな考へ、教訓を持つてているのだろうか。
SSLのそれは どうすべきか。

SSLの実践、心象、満足する方法、を見つにより。

- 主に年長の達の答んでいたものに
- Sカウティングに対する意見、希望は
 - a. 楽しい時を過したい。
 - b. 仲間と一緒にになりたい。
 - c. 自由な決定をしたい。
 - d. 大人として認められたい。
 - e. 野外活動がしたい。
 - f. 大人の問題にぶつかりたい。
 - g. 社会に対する理解の実現。
 - h. 社会に独立一経験が欲しい。
- 自身、取扱い困難を望む、
記念、マーチ等
進歩制度
准教練員の内容
技能量の種類と内容
その他

指導の出发点と SS年代の特質

- 出発点 SSはB.Sの成長さないといふ。それは何か
Sカウティングを今どきし、SSLに

宜をしてやれば よいのか → 基本にSカウティング。
何が あなたに出来るのか → 兴味を読つのJ.C.S.
...自己研修
B.Sを終っている。

SS K新たな興味 趣味の価値を認めさせら

青年とは 子供から大人になる過程のもの

五歳以上（然る般道の所） 大人とは社会人として自主独立出来るもの
中学生又は青年前期

高校・中高
大学・大学院

○ 大人になって行く時の特徴的過程とは

東洋への傾向	家庭からの独立
情緒的成熟	社会的成熟
經濟的自立への開始	知的成熟
余暇の利用	人生觀の確立

○ 課題意識の発展の段階は

SSL、夢館、雨露、

○ 青年の特質とは

全く相反する性格がある。

1. 勇闘の中では自己たまひよりに重む要素。

2. 価値を追求するという要素。

そして以上の二つの階級である。

・何がやりたい。（野心満々）

3. がくは自己への評価を退ける（患者になりたくない）

この矛盾と相反する性格の大きな背影をなすものは...

指導者—自己との戦い。

・射撃は自己内側へと向かうことによって初めて生れる。

・頭だけで泳ぐ
・模倣は泳いでいる。

身体的変化、精神的変化、社会的変化。

青年期は危険な時期である。

近代社会生活の不均衡、常に尊利を基調としたマスコミ文化の中でわづて、子供は見なくても、また知らないでもよいものまで接し、大人と未完形の子供の世界との明確な境界を持たない生活の中にあって、どうすればよいか、わからない中に生きている。

多くの情緒的葛藤（喜・悲・怒・恐怖）が生れ不安な生活の中にある。

SS の決意

身体は大きいので知識もそれに並行していると思違ひし易い。中庸の人間である。だからSSLが考へていること

- ・ 被提示したことを受け入れる能力も
- ・ 彼等自身でやりたいと思ふことと決定する能力も
- ・ それを感じ選ぶ能力も

中庸半端であることを肝に銘じておく必要がある。

SSに対する指導者自身の決意

SS部門は他の部門に比べ、一層高度の訓練を積み重ねた有能なリーダーを中心とする、これにあなたが挑戦する覚悟の有無こそ、成功への第一歩となる。

SSは頼りになる人間を求めている。彼等の歴史を知ることはあなたの責務です。

この決意のない人は SS指導の困難な理由をプログラムとミミック責任を負っています。

SS部門の今後の問題点

○上級者 英才 5% 日本BSの27%

医業は専門士、専門の一路を文どる。

○このまま下 女性 10% 実習実習者 4.2% 一般社会人 70% 学生 15%

第一人生資金 慣習の少ないもの大多数 65.4%

高校年代の子供を持つもの 40才前後 20.4%

上級者の少ない理由

- ・ BS、中等2、3年間に集中がある。
- ・ 100% 大学上級者と入試式を以て上進したものの相違
- ・ 兴味の喪失、人生に対するスクワランプの価値を認めないと関心が持続らぬ
- ・ 同代の学業問題は複雑である。不幸の中へ幸いを求める人生の教文の様なマッチル、指導法と運営をより研究すべきである。
- ・ しは一層「若き者が研究が必要である。
- ・ うましのみで、この部門の解決は困難である。Lを中心へ、父兄、国内外の指導者、専門家、面接の任へある者、その年代の心理をも合理解し、その能力、技術が必要である。この背景をなす諸制度、指導者養成体系も極めて重要である。

指導の三段階

①個人の考え方をばくす。→ 保め。(スクワランプの上に立つて)

方法 = 原理

考え方を知ること。→ 現実の均心直面して

自己の限界を自覚していく。→ SSの進歩

A シニアスカウティングの原理

子供から大人になる過程で態度規範を達成し、よい公民となるために、その基本となるものは、宗教的尊重のもとに、人間の心理を活用し、且つ人間の本能を尊重するにあると考えられる。

そのあらわしとする處は

- 年令と能力に応じた作業と訓練
- 指導者精神の育成
- ○ 高水準の自律
- 年令に応じてくちかい×おきての理解と体得
- 感謝と奉仕の理解と実践
- そして自ら成長する 自己を訓練する。→ まことにアドバイス、→ 他の人の助言

B シニアスカウティングの方法手続

SSSは自己監視制度 が大内閣の監視下、社会性。

選抜制度 面接を重視。

扶助章制度

年令と職務に応じたプログラム

C シニアスカウト リーダーの條件

- | | |
|--------------------------------------|--|
| { BSガイドループ (P.107) と 日本規範の基準 | |
| 貴重な経験事件として考えられるもの | |
| 1 スカウト及父兄から人柄活性とともに信頼のあること | |
| 2 人生社会に貢献のあること | |
| 3 スカウティングに対する経験のあること | |
| 4 多くの時間を作りたるS.S活動における幹部であること | |
| 5 指導能力、運営的能力、正しい判断力、そして周囲との協調性があること。 | |

D S.S.Lの「つとめ」として成功への20章

- 1 青年とその心態を知ること。
- 2 スカウト自ら感の運営の出来る模擬練習する
- 3 スカウトの柔軟性を教えること
- 4 シニアを助けたいとの金額と愛情。
- 5 以上を身につけたる處、特にアシスタントの必要性を認識し適切な運用法を知ること
- 6 その處に大きなバツフボンとなる「開放への導き」を体得すること
- 7 異性の問題を無知ではいけない。
- 8 周囲との協調性
- 9 BS技能の習得
- 10 命令的、專制的(権威的)ではなく、説得の行く「原理的」指導法を身につくること
- 11 どうしたらよいか S.S.L 1人で悩むより、彼等に相談しなさい。
- 12 プログラムの如何こそ 成功への「鍵」である。
- 13 よい環境づくりに努力しなさい。豊かな性格も次第に力をひき出していく
- 14 出の持つ意味、そして誠実基盤をみなおすこと
- 15 すべてを満足に指導出来る者はいない。専門指導者の資格こそ重要
- 16 そりへあなたは何が出来るのか。
彼等は何を教めているのか
何があなたに教わるか
そして どこで行くのか } 考えなさい。
- 17 そしてあなたは、自分がいろいろな人に話してどんな態度でスカウトを見て、喜んだらよいかを考えなさい。
- 18 載入を束めることなく、即時の連続のいつの日にか、あなたにまたの日が来ます。 20 S.S.Lの説明。

スカウティング = 過程教育

理想形成の統論へ到達

but 進級課目が進級でなく即席操作のところ。
各課目八日かけて結構に結びつく。

現在で生きるために結構ある。

- 検査や面接式、(各個人Projectを自取行動して自己評価)

自分の能力を知る
立ち位置を知る

→ 自己の限界を知る。
自分自身の持ち前を知る。
→ テストその他の受けつけ方
<自分を聞いてみる

専門性に於ける宿題とlt;異なる -

→ 要素を判定するだけ

行動行動の問題を導く(痛撃)として活動的かつそれで → 活動的問題

やかましとの成功を喜ぶように指導する。
→ 比較玉コロコロ奈。

"MAP"

11/12

青年心理学

大林「青年心理学」

- A 幼少期約束期 年頃、にさび、成熟期
- B 青少年期 第2反抗期、否定期、青春期、第2誕生
- C 社会的成熟期 周囲人 意識派 10代 ハイテン 大陽族
- B スカウトは大人の専門的な成長の段階 個別化 → 他の比較
宿題等、
- C 青少年期相反する性格の容認 前田アリナ
- D スカウティングの背景 装飾、偏執、危険、叫び、性、の本能
- E → スカウティングは <宗教的蒙昧史> の中に 心理を応用し、本能を善
導する > にあるといいられる。
- F 運動的対策 必要にして自由の感覚 そして言説中心の時代
北条等も終つ 「運動的」と。チエトリヒーリングの現象が引き立つ
させ3

隊の運営

- A 自ら隊を運営するより 期待するよりに行動するの子供々 SSは
教えようとするほど ウヨウソバ年代。被導に立がたこと。
- B 高度の自律した運営実行の選択の選択... 自然に自らを試し、ルダシ
フブの體育が育成される。
- C 自らやろうと決心する者 { 同伴とのとの往來 } 工夫と努力。
何が有引張り出す
又被導の失敗を恐れず 困難に取り組む
- 3 スカウティングの楽しさを教える。
自ら行きこと

文化と家族関係

- 社会的・経済的に高い家族ほど 封建的な社会的態度を構成やすい
- 尊制型しつけ態度 —— 特に母親より強い家庭程、自我的世界へ迷路出す。
- 欠損家庭より —— 放任型に非行少年が多い。放任の文化觀を通して学ぶ機会がないからである。
- 非行少年の家庭的原因 (警視庁)

家庭的原因		不良行際
放任	仕事	39.06
甘	い	3.50
旅	格	0.65
不	和	0.70
愈	困	0.91
父女	り欠如	2.23
保護者	の差待	0.10
家族	の虐待	1.58
計		48.81

友人

親友 理想と現実 感触感と劣等感 独断感と依存

感 不安と矛盾の青年の胸騒ぎを聞いて語り合える

D.

人物	%	人物	%
友人	25.2	姉	5.0
父母	20.4	祖父	9.5
父兄	17.5	故父	2.0
兄弟	8.5	叔母	1.3
故母	7.5	祖母	1.3
附近隣	7.2		

離婚の変化に影響する
あたえた人物。

校友關係結合の項目						
	親	友	親友	同僚	親類	其他
親身	12	13	14	15	10	
相互的接近	11	15	16	12	9	
同情愛着	37	43	42	47	39	
尊敬其鳴	35	36	38	39	42	
親	4	3	3	3	3	
不	4	0	1	0	2	

友人關係-共通の懸念問題 教師の内面

異性の問題

この年代の異性はり屈らぬ無知さはない。

- 1 女性との交際の正しいやり方
- 2 女性の前での振舞方。同年代の女性が持つ特徴 (いじめや暴力) 超越を目指す。
- 3 友情と愛愛の潔別、自己尊重者に尖端を持つ年齢の交際を一生のものと考える限り。
- 4 遊びと恋愛の問題。
- 5 男性の夜間を引き高く評価されたり思ひための行動 —— 然し社会はそれを克服するよりに要求されている。
- 6 青年期の愛愛は主觀性が主である。消費的場での楽しみが多く、相手の中へ自己の理想像を読み、苦しみのある人生にどう対処するかの現実の場における相手の人の本質がわからぬものが多々。
- 7 好ましい異性 (別途)
- 8 どんな男性が女性に対するか (別途)
- 9 异性を意識する時などいつか
- 10 結婚前の性交
- 11 文明社会では食欲に関するばかりが、長上や異性の前で性について語ること自らにく難せられている。

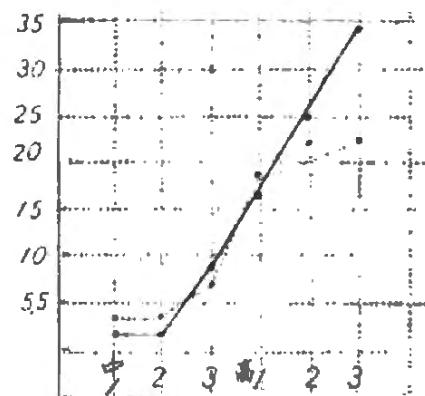
大人はすべてSex.Pと並んでいます。

以上SSLとしてわきよへる程度のもので、ガルスカウトや他の女性グループとの交説を必要に応じ、あえて積極的であることは不要であるが正しい知識を求める際には出会議、団委員会、父兄会と相談してひとり合意の態度避けること。

高校生の異性を意識する場 %

場	男	女	計
失敗体験、困難に直面した場合	40	11	31
討議発表する場合	29	29	29
多数の異性集団に面接する場合	9	11	9
校外生活クラブ活動の場合	7	3	6
勉強している場合	1	8	3
体育、身体検査の場合	9	32	16
生理的变化の場合	0	3	1
便所使用の場合	0	0	0
その他	5	2	4
一人平均の指標数	0.70	0.31	0.50

異性の友人を持つ割合



異性の好きな特徴 (Mother-WG, 1939)

特徴の順位	高校		大学	
	女子	男子	女子	男子
1. 顔形	4.2	3.3	4.6	4.1
2. 健康	5.5	4.5	5.2	4.4
3. 大きらかめな	4.5	3.5	6.1	3.3
4. 明るい	5.5	5.5	5.8	6.0
5. 性的特徴	6.5	7.5	7.7	9.0
6. 感情	7.5	1.2	3.5	5.0
7. 面倒見のいい	8.5	10.0	10.0	11.0
8. 優しさ	9.5	8.0	9.0	10.0
9. 上手	10.5	11.0	8.0	8.0
10. 素朴	11.5	3.0	11.0	2.0
11. 机会的	12.5	9.0	18.0	16.0
12. 深い	2.0	4.0	5.0	7.0

高校生の異性親交の状況 %

	共男	同里	其女	同女
無	60	11	87	82
計	40	37	13	18
基	5.2	6.0		
性別内	34	75	31	56
性別外	14	25	3	44

元々性格の男性が女性に好かれているか

明るい	4.5
実直	2.5
さつぱりしている。	2.5
思いやりがある。	2.5
エレガント。	2.5
普通が強め。	2.5
頭がいい。	1.5
温かでやさしい。	1.5
相處力がある。	1.5
清潔な感じ	1.5
親切	1.5
頼もしい感じ	1.0
真面目	1.0
責任感がある	0.5
理性的	0.5

元々性格の男性は女性に嫌われるか

陰気	3.5
寂しげな人	2.0
うるさい	2.0
碌な経験	1.5
愛が少なくて	1.5
よく口うるさい	1.5
門限	1.5
引合	1.5
悪口	1.5
心地のよさない	1.5
虚榮心の強い	1.5
責任感が無い	1.5
アラミスト	1.0
短気	0.5
しつこい	0.5

宗教八の導き (此の順序後日譲る)

宗教的情操 人生や自然から反省

人生と自然の解釈

周囲との接觸性

1 シニア スカウティング 出張旅行団遠くへ行く

2 社会的变化と社会的持続

A 家族からの独立 (1) 爽快少判断

- 徹底的判断（自己以外親 SSL 教師等の外的からの）次第に進む
- 整理的判断へと進む（自己考文、経過の入り口でする實心に成り難く
の自己の人生）
- 中期終には実用的判断（親切、立直）の時期となる。

価値判断の標準 (%)

年齢	少年	小3	5	中1	3	高2
理的判断	4.4	3.8	29.1	44.7	74.5	↙
成的判断	19.3	24.0	20.1	13.6	4.2	↙
实用的判断	57.5	65.1	40.4	34.7	13.3	↙
他の他	0.6	0	5.1	3.0	0.7	
不	18.0	7.1	5.5	3.9	7.1	

(2) 離子の関係

親の理根據

離子の個體化は次第に低下 送り信頼する傾向が大

年令区分	男	女	計
6～11才	14	17	16
12～14才	6	14	10
15～20才	4	14	9

子供から親被覆次数(信頼) (平均 年齢別)

対象	小3	中1	高2
父	4.8	4.8.5	
母	29.0	14.9	
自分	4.7	13.3	
兄	2.7	5.8	
姉妹	1.8	5.1	
祖父母	5.0	1.3	
友人	1.4	7.0	
教師	2.6	1.8	

(3) 周囲 社会的持続

成長に伴つて

- 家族関係は膨大に
指導者はぐれ散らか
一般世間はさびしく そして皮肉的になる。

○ 開放的雑談り内容

政治経済
衣食住
学業取業友人
将来の希望
愛愛 賢性論
人生哲理論
趣味
その他

○ クラブ活動

社会的興味のため
話題を中心に、集団 活力 研究 探索
の貢献

○ 個人的興味

（自己在場にて有効に表現し得る）
カリスマ

イ 容姿 衣服 創造的表現 職業の選択 独立心

(4) 興味の内容

個人的興味 他人的興味 探索と就取 性 リズムの指導法による。

○ 家族關係

親の態度と親に対する子供の評価 ○ 親への反抗理由

親	評価	男		女	
		父に対する評価	母に対する評価	父に対する評価	母に対する評価
慈愛型	—	4.4	—	3.5	—
放任型	—	0.4	—	0.8	—
溺愛型	—	0.6	—	1.3	—
専制型	—	4.4	—	3.9	—
民主型	—	—	—	—	—

民主型が高く評価されている。

○ 青年前期では自由を侵害され
父時（強制、压迫、束縛、干渉、叱責、侮辱、皮肉）

○ 中期では批判的態度
無理解、意見の相違、親の非難

○ 後期では理知的反抗

自己主張 自己表現

敵の指導

- 1 開拓行為SSに不適です。
- 2 自己流は上回り。 何が目的で 何が手段であるか
3. 僕は武士の子ではない。 大きくましく実行により学ぶ体験教育の方法。
文化と父子の脚下を離れて山野を教育の場
- 4 敵長は万能で無い。

SSは指導者の人格と経験と熟練に期待する。

- 5 「知つねえこと」「できる」とことの差
- 6 権威的指導ではなく原理的指導で 緯のくへりを忘れずに。

- a 伝説リビア馬鹿さひこよりだ。(歴史の教習の問題)
- b Bの足跡は深く、SSのは深い。
- c 牛乳袋の中へピンの洗い籠を入つたい不答。
- d クヨイこじらひ方法のないじきはどうするかって?
- e 学の無い私はどうしたりいりますか。

7. 指導者／人を描むより、读者に相談しない。

お兄ちゃんはやるじきもあるし やうない間がある。

- 8 SSLとして、あなたは何を反省しましたか?
あなたが今までやつて来たことを

- 1 BS運動の基本を無視して来たのですか。
- 2 SS年代の堅持を考えたかつたのですか。
- 3 シニアスカウティングのねらいがわからなかつたのですか。
- 4 敵長としてシニアスカウトに同調する事がなく カくあらべしと 権威的になりましたか。
- 5 与えより 教えより そして試す堅持が強かつたのですか。
- 6 それとも、周囲の圧迫が強かつたのですか。
- 7 自己中心的に考えすぎていませんか。 そして客観的にものを見ることを忘れていましたか。

8 あなたはヨーロッパを開拓しましたか

- 9 彼等を愛し、信頼し そして助ける堅持はどうでしたか。
- 10 このことで 敵がと相談したことありますか。

SS最後のねらいは「自律」にあります。班制をよくよく考えて下さい。
そして彼等に相談することを。

指揮は形式にとらわれる必要はない。

9 プログラム如何こそ成功へり「鍵」である。

指導者、人の能力には限界がある それよりも彼等が何を求める 何をしたいかを知る方が重要である。

精神の型とその特徴

指揮の態度	「藝術型」指導者	「民主的」指導者
1 イメの考え方	「藝術型」指導者 ・わにくし。	「民主的」指導者 ・われいび
2 行動のしがた	自己中心	自己中心
3 行動の傾向	自己の自信	自己の自信
4 行動の意念	自己の発展	自己の発展
5 説教のしがた	技巧的	社会的
6 球面のみなむと	自己	自己
7 学習のさりがた	反覆	自我深入
8 球員の要求	從	力
9 成長との関係	個性的	人間的
10 成長との意念の流れ	一方的	直に双方的
11 成長の風化	恒	指導者と見合ふ程度
12 成長との關係	相應主義的	統率的
13 成長の予見	敵意をもつ	抵抗力する

知能的意味

- 人生への要求は、体系が分化し、人生問題、精神問題等八端、大徹底的な実験を總体観とする。
- 驚くくなるのは、相手の意見を聞いて何より正しいがうそりと入るといふこと。
- 一般社会の慣習に対し、虚勢的に反抗。精神が乏しい故、觀念的でなくして酸苦のものと取らる。

道徳生活

- 成長に伴ひない社会の価値基準の規範から剥離が進む。
- 多々反抗の型となり、自分なりの道德的道徳的基準を作り出します。
- 自律とは、原理的で、正義、良心、人道、に徳り。

生活態度

- 本末に対する不寧の感、あんがい偏生を求めるより叶わない點がわかる。
 - 熱情の燃焼が激しく不安である
 - 理想と追求が強く、理想と現実が不調和の際、精神的にも弱りがち。
 - 批判的で鑑定、自己を論理的に剖析し切らうとするため、主觀的になり易い。
 - 友人にせら理想的観念をかつてのせむ。

片導向

道徳的よりや爲生的の専門觀が知れる。青年にはつきもの。

L.H. 方向づけを行ってやる。

三行

黒いがすれいことりおに黒い、即ち黒い脚をすこしたため、銀行に財をも其の脚を反成りだす。1. 深く、五、のようく連続について理解したこと、改善に具体化して取組活動に導かれる。

人生观

- 人生觀の確立、人生觀の確立をする。
- 青年なりては人生觀の確立がないうちに漠然としている。
- 人生觀の形成は、青年期の不信、反対、疑惑等これらいつたものを通じ大人へ發展していく。
- 人生觀を考えれば、行動、生活面の端を發し、①身上の出来事（死、病気、死、恋愛、生活の変動）
 ◊社会的軽けき、疑惑、哀悼
 ◊政治的、リダ、教師、友人
 ◊精神的自然癡達によるオノ
 ◊思想的軽けきによるもの

価値の問題

- 青年の求める傾向は理想的、理念的で環境的価値から独立する。
- 個とは一理想的目標と行動と現実の姿と行為のズヤツ。

職業と大人の態度

- 子供の考え方を肯定しながら、大人が期待する環境的価値があることを教えることは重要な學びである。
- 科学の進歩は今日、知識がかなり増え、幅も多種多様であるから大人が既成概念を整理していかなければならない。
- 大人が都合で押しつけ、それを承服出来ぬ時、反抗的であることが一つである。
- 大人のコンプレックス、自分の所有感、自己支配下にあると意識過度の結果、教師をつくると、生懲戒とか、大きくなると生懲戒ばかりいり、理由に存疑しくないが、もろがたこられ、すぐ厭むられる能力と、差別觀念に対する抵抗力を弱め金をある。教師より反抗する。大人の敗北を懲戒より重視する。

指導性

考え方資料をあたえること、無理の無い結論を導くこと、さればすると大人の考え方方がよいといふことから、若い首に仰レつけ腰になる。然し子供の思ひ通りさせることも、責任であり不親切である。

豊富大人の経験による、多くの考え方資料を会話の中にあたえ、最後の判断は子供に任せるべきで、もし失敗すれば、次には慎重にれる。

例文は「それがいいわけでは、その通りかないで、町説がいい」と

く聞いて、異った考え方や意見を取り入れて、共に上りきる方向をもつて行くのが指導である。命令ではない。君達に話し合ひなさい。でもいいけない

- 人生そのものが、現在進行形であるから、本当の結論はない。然しその時に応じてお経営的結論はつけてやるべきだ
- 無理な規則を強行すれば、反って順法精神は弱くなる。
- 結論として、青年の仲間に内容と方向をあたえる脇り資料をどう通過させるかが問題である。

よい環境づくり　よい環境とは.....

- 社会は複雑です。どんな状態がいいのか、迷いをすらしわかりません。
- 只一ついふことは、「スカウトのおきてがわかれわかれ目標で才」人生経験こそしい若いリーダーは、自身が体得し、実験出来ることです。何故ならシニアスカウトはあなたがいいことは單純に聞かなくて、おほにい理解をすらがります。

どうすればいいか、自分の過去の経験、体験だけで成長期のシニアを指導することは無理です。あなた自身の経験を持つより仕方あります。
私たちは、実務所へ行くのそれがない。リーダーはいろいろな研修の場にいることは必要です。それでよいリーダーになれるでしょうが。そんな単純なものなり、学校に行つたから全部優等生です。

自ら会得するものの数店にテレビの中にも、演じて笑いつぶやくやつぱいづばいある。

○人に教けるのは基本的なものだけで、それから先は、あなた自身の心がけにある

スカウトは行動教育、スカウトは組織修練

父（親会員）	母（家庭会員）
夫（家庭会員）	妻（家庭会員）

部の基礎

やさ、SS、前後の時期の配慮

最初指導者を求めて下さい、SSの事は知らないても、ソリ年代の子の親をさき相談相手となるはずです。決らず深め下さい。そして役力をお願いします。
どんな人に....それはすべて満足出来る人は何處にもいらないと同じように、こんな人をとは申しあげられません。

S.Sハノ歌

君の行く道は　果てしなく遠い

だから　なぜ　朝をくいいばり

君は行くのか　そんなにしてまで

あなたは

何がささるか
波音は何を求めているか
何をあなたは与えられるか
そして阿那へ行くのか

スカウティング、特にSSにおいては基本の説明は出来ても、その方法論を教えることは、誰にも出来ません。個性の異なる環境の異なる成長度合の違う者の組合せですか

スカウティングには原理があつて、方法があつて、ルールがあるのです。あなたが運営如何、妙味のあり、あのうこの守を考える楽しさが出て来て、ときどきいい連中だといふこともわがります。

またしてあなたは

自分を見なさい
どんな態度でスカウトに接するか考ね下さい。

どうしてよいかまだわからぬときは、波音SSに

よい友人らしく
それとも、すぐ上り足りりしく
あるいは、長足りしく
父親らしく
母親らしく

どれがであればよいのです。

僕はこのどれにやあてはまりません....それなら何もいわないので、SSの後について行きなさい、絶対に道は開けます。

SS指導の段階と前後のキー・ポイント それは、波音との人間関係がありません。

誰がやつてもうまくゆくものではありません

SSLの任務は忍耐の運営です。腰を立てたら敗ります。娘と娘しかで共存しているものです。前に不安はつきものです。
越境はかなりいつの日かの栄光は日本がやつてきます。

班制

1. スカウティングの成立

概念論や抽象論を解決し、より理論出来ない事が多い。心理学と科学を立脚した社会教育である。従つて陶冶すでも実際教育が主であり体験主義、経験主義の昔々年社会教育である以上、大きめ理論的の裏付はわりが、やはり実際の活動が中心である。

2. 日本連盟規約の考え方

以下の説明は、どこまでも~~道~~え立たること、隊の実際活動の動きに対する説明され、また、強制されない。
長い歴史と、歴史に足かどり廢し久先輩の業績の續り重ね、もって無理な無い組織として生れた日本連盟規約を中心へ考え方を進めます。
スカウティングは組織体訓派です。
ノンノンリ独立的性能(心靈だけではなく、行動)を持つたすのへ綜合であるより、SSLのあなただけでなくノンノンノン異った個性の成長を合むものとスカウトの綜合があなたに教でれる事を充分認識して下さい。

3. 隊長の仕事 規約481條 496条 497条 メモ

4. 班の運営

班名

班別章

班シンボル

☆班旗

特別班

班長の仕事

A 規約とその考え方 規約492条

○参考

C.S. 総長

BS 班長

RS 班長

SS 班長

班活動の中心となる 次長と班長を取けるDCがDMの能力によって班活動を指導する。

次長の役割と班長会議及び隊長の助言によつて、班集会、ハイク、野營もあり計画し隊員の班活動を通して、その班員を訓練する。

隊長の指示のもとに班を指導すると共に、隊会議の一員として隊の運営にあたる。

次長の役割と班長会議及びSSLの助言によつて班活動の運営となり、班を主導する責任を有する。

規約551の意義

- 1 以上より参考により年令によりどり聞くが、これがいわれるでしょく。
- 2 SSはRSのよりに隊長の指示ではなく、班長会議とSSLの助言を併せて取る。

・主導とは人の上に立つり、ダ・シブ。

・運営とは、組織、制度を活用し、事業を工夫して行うこと。

(註意)

RS班長～班員を訓練 HS 指導 SSは訓練時に指導とはしない、常に注意、の復習を年代に対応するものとのもの

班長の任務 班活動の中心となる

- 1 班内が良い人間関係を作ること これが最重要な任務である。隊活動のための為にこの限り零にがんばつくる。

2 熱意を持って班を指導する。

班長会議の話題のときにプランを作り、牛に立てて考え、それを出し、エネルギーと学味をもつて当る。

- 3 創りだされたプログラムを山登りを行つて遂行する。

4 班会議を通じて、班の運営にあたる。

5 隊勢の地理に当る。

6 班員の進歩を促す。

班長は隊や班のプログラム、各個人の進歩させ進歩を計る、新らしい知識を日々得たりにつめる。

班長ふさわしい資質

- 1 親切であること。
- 2 平直であること。
- 3 热心であること。

※ 明確であること。

規約 5 さらに欲しい文は「礼儀を心得、指導力ありは申込み」。

↓ 班長の選任 規約 492 条

班長は、自員によって選ばれた者の内から、班長会議にはかつてシニア代理が任命する。

参考

CS班長 班員と隊長協議の上選任する。通常6ヶ月ごとの交替がよい。

BS班長 班員と協議の上、または班長会議にはかつて上長が任命する。

RS班長 班員が更迭したものを隊長が任命する。

SSの場合は、より自主性を認めており、CSの様に完全に班員の意向だけに決めていい。すなわち、班長会議にはかつて上長が任命する。

実際の経験のある指導者は、この点に慎重である。

1. 指導者のある、衆望のある者の互選は確実であるが、その実体を見極めること。

2. 班長任命の場合、又は推举された場合

3. CSは復讐を終わらせるのに、規約にはないが、既として任期を定め、さもなくとも即時にゆく。最底6ヶ月位。

4. CSスカウト、CS隊長 OO君は標準を感覚的、ボーリング等、何よりも何よりも意味で入望？ がかつてりして...入望、老練化して...、ややく複雑です。

これから述べることは、訓練の方法であることを

班長会議 ダクタ条 進退会議は隊内の運営一切の責任を負う。

班長は会議リザルトに控て、適切な助言に当る。

班長会議は訓練の方法であつて、班長もスカウトも、このことよく認識するより指導しておく。

われわれスカウト運動では「らかい」「宏きて」がものごとの決定の基本になつていることは、班長会議に於て特に忘れてはならないことである。

会議の代用

1. 隊の名誉を守る。隊の名誉は班長の手によって守られる。

隊員達はこの道徳的権威によって影響されるのである。

これが個々ある伝統を作つて行く。

2. プログラムの立案、内務に関する全般的業務を行つ。

3. 隊員一人一人の進歩への督発

班長は一人一人の班員との語らいを通してその心を知り、励ます。

隊員各員の能力の培養についての反省

この仕事で学んだことをわかる

班会議と巡回会議
→ 班長会議の結果に対する確認を行う

ノートハンドについて意見を述べ決定する。

2 底本会議

これらの場合は、ノートハンドがなくとも、底本会議で集会するのがよい。
ノートハンドをつけた場合は必ず必要である。
自由にさせておくと、中三者がありて該組を受けた服装と態度で集合していそ様もわかる。

3 開始の班会議

班のことを終了する段階についてめる。

隊会議

初めて重要なことは全国で実施、収集を課めた時に限り、次に班長会議が可能か郵便便にて送付に留意する。

企画委員会 ダクタ条

年長隊には次の企画委員会を、班長会議の委任によつて設け、隊の訓練プログラム、行事等の立案を分担させることが出来る。

隊外委員会

室内委員会

外住委員会

この委員会は、どういう場合ではいいが、あなたの隊の実情による。これが設けた場合の業務の分担は隊の実情による。

ダクタ条

企画委員会の設けられた時は各班から少くとも1名以上が、すべて委員会に分派され、またすべての年長スカウトは何れかの委員会に属さなければならない。

企画委員会は実行指揮ではないのであつて立派な仕事であり、班長会議の承認を得て実行に移されるものである。(501条)

委員長

各委員会には夫々委員長を置く。各委員長は委員会ごとに直選され班長会議に計つた上シニア隊長がこれを任命する。

この際、同一の班から2名以上の委員長が選ばれること、班長が委員長に選ばれることは出来るだけ避けねばならない。

隊外委員会

主として隊外における訓練プログラムを中心で

室内委員会 屋内で行つたプログラム 救急 結団記念 映画等

奉仕委員会 奉仕を主としたプログラム 交通 助け合ひ ほんへい

奉仕等

(参考) 年長隊監督幹部会例 培訓実施の取り扱いの誤りぬきに

3 特別活動の例

A 調査研究を主とするもの

- 1 実地の調査研究
- 2 文字の読み書きの練習
- 3 鳥山 工場の見学
- 4 河川の潮流を尋ねる
- 5 師範の調査等

調査研究には必ずテーマを持つ

スケッチ、スライド、模型、録音等につき審査の集会、団体食事、開成会に報告が出来る。

B 社交、親睦、奉仕を主とするもの

- 1 観光シニア隊めぐり
- 2 他県スカウトとの親睦交歓
- 3 精英、肢体不自由児挑战への奉仕旅行
- 4 地域小学校の慰問等

C 健康的活動、スポーツ等の

- 1 登山、2 スキー、3 遠征旅行

- ・車両は自家車、ミニバンによるもの、運転、電車、バス、船、徒歩等交換によるもの、当たる所を走らせる。
- ・ホテル泊泊に頼る事、旅行の好みの回絶対避ける。
- ・出来る限りスケジュール主体とし、野宿選定を厳守する。
- ・旅行中の礼儀作法に十分注意し、いやしくも「スマイル」でやりながら、「」とおじょう行進曲を受けないようにする。
- ・日々の着用の実験するといい服装でのるから計画的口にも奉仕活動を含めるより結構である。

I 教養活動

シニア年会では、冒険心や創造精神等に向かってのみ發揮されるだけでなく、理想の追求、人生探求の自己内部に向かつても発揮され、また自然の理法や、科学技術へ向かつても發揮される。これらをプログラムの中に取り入れることによつて、その視野を広め、同時に深さをもあたえることが出来る。

開成会の後で、同趣味のものが共に一時を持つことは楽しいものである。少し余韻を利用して語り合ひの心を養ふことである。

月々開催の教養会を持つ隊ではその回を教養活動を中心テーマとして開成会にすることも多い。又隊員全員で映画を鑑賞し、その後で話し合ひを持つことがえられる。

美術展覧会の見学と話しあい。レコードコンサートの開催

美術、鑑賞と話しあい。

文化人、宗教家を訪ねての討論、座談

これ等で隊全体としての教養活動としてとり扱われる。

服装はその活動にふさわしいモノがよく、必ずしもスカウトの正装を必要としない。

以上が隊の教養活動としては隊のプログラムに組み入れて隊活動として取り上げるより、活動味の東リとしてカグルンの組織で実施するモリが考えられる。

グループの例

音楽グループ（合唱 合奏 作曲）

文学グループ（俳句 短歌）

美術グループ（絵画 初版 美術）

科学グループ（無線 放送 自動車）

その他 演劇、天文、将棋、新聞、等のグループが挙げられる。

その成果は定期の大会をあたる隊会へも奉仕、或は隊活動への普及を可能にしてやらねばならない。そのことにとづいてグループ研究り意欲も一層盛り上がりづらまる。

例）新聞グループに依る月ノ回の出版新聞の発行

無線 ハイキングアルプスの活動

空手 ブルーリボンの貢献

シナリオ 第二次劇の脚本

劇場 マジックパフォーマンスの建設

作曲 長歌 歌歌、洋楽

教養活動として取りあげられるもの（別冊資料）

教養活動について、一般的に言へること、隊長の長い即ち大事な事が聞こえ、開成会裏中から最も部分が大きい指導者を探してくる力が大きくなる。

高校生のひとりシニア隊である場合、學校で学習しているものを取りあげる必要はない。被尊に欠けていいもあり、必要と認めたもり、意見出されが隊長の役であり、それに対する興味と関心を持つ様に仕向けるのが隊長の指導である。そしてよい指導者が見つけて被尊に引合せるのが隊長の任務である。

プログラムの立て方

1 誌が立てたりが

班長会議で原案を作る。勿論班長の満足な助言は必要であるが、これまでスカウトが主体的に案を練りあげること。

2. 委員会議を経て決定する。

出来れば、取次を搞定として前もって隊員に配をする。

委員会議は後回のよりよい創意を生む機会であり、其満利潤を計り、最大効果をあげるものである。アリ、そのことについて「何を知らぬ者たる者にさういふことは斷然する。

3. 企画本部会の役目。

班長会議の本性によつて、隊員訓練プログラム、行事等の立案を分担する。この決定は、班長会議の承認を経て実施に移される。

4. 作成の手順

○年間の見通しがつける。

〃 主な行事 プログラムへの希望 運営への意見、昨年度の反省と本年度の決意。

○計画の樹立

班長会議から隊員会議へ。

ノ年々3期に区分するといい。計画の樹立は新年か1ヶ月前位前に出来るといい。その際に年間を見通しがつけることは以前よりいうことになる。

つ1ヶ月の実現度の作成——班長会議

○隊員会の実現度(結果)——

III. プログラム作成の基盤

○隊の実績をふまえ。

○隊員の身外的、精神的、発達に即応する。

○進歩的過程を通じて各人の発達を計る。

○視野の拡大を計る。

○高度の自律、指導性を育てる。

IV. プログラムの内容

○身体的活動

○教養活動

○道歩き技能

○奉仕活動

○社交活動

○精神的活動

○出版物

その他留意事項

○プログラムの概要、案内

○新しい意味を添加せることを極めてはならない。

○プログラムの幅広く充分理解させる。

○特殊手段等を各種の講話等で専門家を招いてプログラム充実を計る。

○プログラム自身 制限あり、欠点あり、時には予想とはね変更あり この事を充分理解させる。

○既プログラムがあるものは、アピールしないものもある。然し義務としてやるべきであるといふことを明確にしておく。

○スカウトは、独自のプログラムを持つべきである。班長はそれを相談相手になる。

隊の指導

1. 隊の基盤

1. 地域に於けるSS隊の底立ち

1. 管理の組織

2. 隊の運営

2. スカウトの性格

1. SSは今すこ何をして来ているか

2. 今までの変遷、主な訓練の内容、程度、年数

3. 知性、感覚性。

4. 利用出来る時間的余裕。

3. 指導者の在り方と秉質

1. 指導者の數とチームワーク

2. 認定と指導力

3. 求めるところ出来る外部指導者

4. 指導の出発点

1. どの様に助力をあたえたらよいか

2. 何に力を入れたらよいか

3. 開拓へ行けばよいか

5. 指導者の條件

1. スカウトへの愛情と信頼

2. チーム活動への興味と技術

3. 青少年心理の理解

4. 経験の持続

6. 指導者の資質

班別、道歩制の適用化運用

よいプログラムの提供

より環境、参観室、を準備してやること

指導者自らの人間的成长

プログラムの立て方の觀点

1. その日の午前順で作成されたか。
 1. 班会議の活動はどうか。
 2. 隊会議の状況はどうか。
 3. 全面委員会はどう運営したか。
2. 朝の儀式として何をえていたか。
3. 進歩についてどの観慮されていなか。
4. 特別活動、教養、奉仕、社交活動などの入り入れはいかが。
5. 集会計の作りはどれでいいか。

内容 { 開幕会
班集会
6. 進歩、技能についての個人プログラムはどのくらい設けられたか。

5. スカウト値を入り人間的成長の認識
6. 異性への関心に無知でないこと
7. 前沿の時期(D, RS, BS.)へリ配慮
8. 体操者・長尺者の配慮
9. 家族との連絡

7. 留意事項

1. スカウトの美徳を見出し、激励する。
2. S.S.だけなどいつてあまり避けなしてはならない。
 - a. 班長をよく知る。
 - b. 班長は指導者に対し真実であること。
 - c. 班長同志は仲良さであること。
 - d. 連日常に励言を求めるより心掛けること。
 - e. 指導者は周間に對し、いつも真実を示すこと。

（二種別訓練有利である）
3. 指導者は個人的になり、成績的にも不本意は年命の者を殴り立てるこどもを防げてはならない。
彼等の技術力及びないもの
意味の持続しないもの
改善が遅々と失しないよう
4. 班長の失敗は、隊の大失敗の始まりである。
5. 小さな計画運行にて財物はづけが多い。現状は如何に誤りか。
6. 隊が競争的に結ばれ、信頼し親切で、優秀で、隊員の意志が調和されること。友情は元や愛を育むからである。
7. 例会・班会に欠席の場合は必ず申げる。併せてお詫びの手紙を提出する。
8. 運動日終了後
9. 隊の企画運営は日連続的
10. 契約を守り、自社の運営を可能にしめるのは指導者の自信である。

8. 隊の運営 契約455条 486条 496条

- A. 問題点
- a. 要點承認の多いプロのわざを知らずに過す。
 - b. 指導者が上班、隊行としてのみ取つてしまふ。
 - c. 指導者が客觀的に見つからない。
- B. 解決策
- a. 事務を主體に訓練を附加する。
 - b. 減少及ぼす能率獲得への精進。
 - c. 将士評議への参加
 - d. 他隊へ訓練の客員参加
 - e. 班会議、班長会議の能率を生かすプロの立案と実施。
 - f. 指導者をより尊重する。

9. 例会ハフター財政入伏
ル、新規会員の加入の勧説
は、3ヶ月間の隊員登録料を免除する。

9. 進歩と成長による隊員の成長

1. 進歩の測定（第1回目・アンケート）
参加者数1245人 アンケート提出者977人

(経験年数)					
2級	250人	26%	2級	2年～5年	82%
1級	620人	63%	1級	3年～6年	77%
未	97人	10%	未	5年～8年	82%
全	10人	1%	全	6年～9年	80%

C.S-B.S ガウ上達
B.S
S.S から入隊するモチベーションの高さでこれに基いて

- A. 級別達成の聞きが大きいこと。 B. CS-B-S-SS } スカウティングに
BS-SS } 別れて 感激を失ったもの マンネリズムに落ち入つてしまふと挫則出来る。
C. プログラムの問題、そこに原因があるところである。
D. 1級取得精一杯で、シニアハブログラムの醍醐味を味うまで至らない。
E. SSクラブはノボルスカウト力と基礎とも若スクウトにはない。

2. 進歩をはかるモチベーション

- A. 進歩の問題 総にS.Sは第2位休眠 B Sは中3。
- B. 時間的余裕の問題
- C. 想像の問題

3. 打開策の提案

1. 隊集会のねり方
2. 隊集会の工夫
3. SSに入隊 隊長自ら指導3～4ヶ月でノ級
4. 隊・班集会でノ級の内容をくりかえし、実力を練る。
5. 教養活動の中には部屋収納の為のプログラムを開発する
6. 例会場に進歩の目標を立ててノミネーション

- 7 型の隊長、班長、班員の懇意の問題である。
- 8 体操室には、物、心を注ぐ、残りきづなで結ばれていること。
- 9 運動に対する隊長の據詰は
〈運動を、歴史をわた文化がめ、然も、けつさり〉
- 10 運動によりなく、より深い、人間的成长の一端を見出さうとする

隊員会<災害救助>

- 1 集会セレモニー
- 2 安全行動説明

本位

スカウト活動全般の基礎である。
S.S.には、いつも他の人々を援助出来るよう、應急・技能を持たせるマップログラムを作る。
訓練には、精神と技能を指導することを第一にされない。かくして緊急時に立派な本位を率先して有効に実行することが出来る。
災害救助に対する主な技能量。

警報官配 汚急車 環境衛生車 水深計 消防車、
前後車 信号車 安全車 救助救助車

3 救急法の実地演習

止血法、胸外、除腹の手術、運搬法。

4 救助訓練

1. 各班に何種の災害行動計画を立てる。
2. それに對する處置（火災、火災巨大）
3. スタッフ及患者の講評
また、各班に指令を手交
○日必要資材を受領する
実演と講評

5 終りセレモニー

隊員会成績、引留会式

1. 準備の度合、細部的、物理的準備、
→指揮官、班長、隊員
2. 集会ルーチンの確立する
初回、終りの時間割合
管理事務の徹底、迅速、
○集会儀式、記録、報告
実演、告知、歓迎
3. 腹案の徹底、直し正服とは限らないとされる。

4. 第2回の教練法に付ける
→未だ十分性、微弱の進歩を求めて大括を取らす精神高揚の
度である。
手の会を、手話
服装衣装、色彩主義は堅くなり時間がなくす。
ゲームの遊び水準のくる

5 総算

1. 本位として發揮せんしない、被説は大人として扱はれむ、
強制はは、オツ大はてのる。
2. 不足ウツリ改善を満足させる
○手当生活リ基本的欲求

 1. 大人として扱はれたい。
 2. 前もたい。
 3. 何か達成したい。
 4. 自分の価値を認められたい願い。
 5. 何ものかに貢献したい意欲。

{ 調理、ハイク、夜間活動、クロスカントリ、地図と測量等の実施 }
専門講義する。

はお川原木の木間にノミで入る。

- 「筋力が強くなるだけでは不十分である。
心も鍛えねば成らぬ。」

「日本は能を教える上口」と號に考案・記載

卷之三

日本ノテクノロジノ開拓ノ事、萬國ノ研究ノ事、自己ノ研究ノ事、多數意見ノ次第ノ實行ノ企圖

1 地理学与环境

種々多かれ少なかれ猪羊鶏鴨等の肉食を以て、主としてシラミ伸
発揮する。試みにさること何回かである。
其猪少利他行為は社會的行動の根柢とするものである。

卷之三

新編藏書

職業的には面に触れることが特に大功である。納采どの方面に進むべきか、牌照長の生涯が仕事全般の興味をもたらすのであり更に専門的な生涯の選択が可能となる前に、等びて聞いておきたい建物の建築者を中心とした一連の得失に対するアドバイスを吸収する。

卷之二

卷之三

1755-1849 這幾十年的中國文人與社會文化研究

古代毛陳の本義　146

- 卷之二十三

左側の木、根株を残すことばらシガ

六、本件は前項の二、三、四に付する必要性と付し、且つ上記の
各項を之に付する。

二、目的

（ア）ベトナムに人數（流動）が、既に昔からあります。
（イ）農（農業）、家（家庭）、学校を持つて、いわゆる「ベトナム」。

四、在一個時間範圍內，調查小組

この前、武田海一が日本企画の新規プロジェクトが始げられたばかりだ。

父の死後、娘の嫁入りからへんが、費用はどこがう出すか。

国家—→地方制—→执行制—→混合プログラム

プロジェクト企画室の責任で取扱会社にゆき

以上グルーブの概念は、ルートライドがアリゾナの幅を決定する。

- ・SOL活動（燃えるダム）はリモートで、タバコをくわうレ 極笑する所です。然しそれがけに なんとかなりり と出来た 豊臣は豊後守、豊前守と並び 畠山と並ぶ とが内閣されついで 可能性が多い。

⑤年長プログラムは進歩的(複数段階)で、従事者も他の資料を活用しながらプログラムとして構成する。

？猪生一窝猪，以助少壮之气的提心

次に、地盤としての信頼性を質す。サスケウトは、地盤の信頼性を評価する。

卷之三

本圖會印紙製成量船尺寸並附有不同種入門和出門尺寸的詳細說明。

抵制の困難及理由 人間的 個性的 社会的都達が班といりわく、自に止まることに抵抗を感じる。 いは如くは抵制の上の企画本質へ、即ち村立を危、才々。

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

四

原句的第二步就是由乙反

易經·繫辭：昔者周易之興也，其與天地萬物之化
而生者無以異也。故其象也，具乎天地萬物之理；

2. 1945年《蘇聯東北人民民主聯合政府》。

第三十課 人物の外見と内面と 人物の3要素と

3. 演示功能模块

1988年7月20日
《人民日报》

王孫指的家裏三日米飯，是為廢帝之子。

二大五公十八年歲次己卯年。

卷之三

卷之三

• 江苏省立女子师范学校

四三

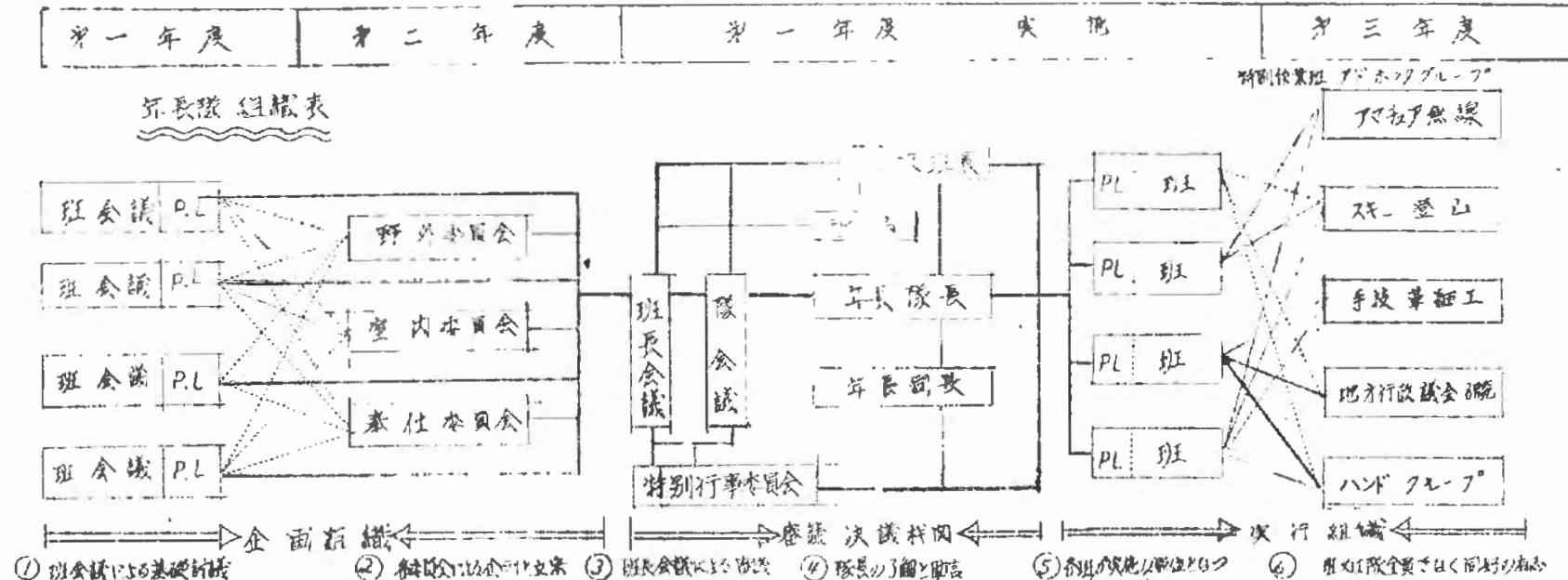
卷之三

卷之三

△ H6. 頭の頂点が小顎の後方へ寄つて、後方に「ハサギジラフ」(ハサギ型)の頭形を示す。有爪動物ではこれが後退化した。△ H7. 小顎骨が頭部に接する。△ H8. 小顎骨が頭部から離れて後方に移る。

錢幣製作鑄版

3 洋銀 金庫費金 外ホル
グループ リザルト金庫の総合



- 調整・決定。 て実行に移る。 ジャブによって実地で移される場合もある。

 1. 班長会議には各企画委員長が出席し、提案し説明する。議決には加らない。
 2. 班長会議が必要と認めたとき、隊会議によりトループメンバ全員で討議する。例 年間プログラム、定期評定、クリテリウム重要事項
 3. A.H.G. は 1.2. 固て終る定期会議の } 隊、班の出席率 水準以下リストは会期を休むことが望ましい。
2.3. 年の長期ノリとある)
 4. 珍長隊の運営の責任は 班長会議にあるが、最終責任は隊長にある。

いかにて、をS上達会と連絡し、協調し等がへました。

年 月	年長隊Sは SSガードナ ド会議会	上達会で行な る事会	日 期	目 標
40. 9	中3年 体操式	中3年	9月	年長隊ガード少年隊幹部が得て年3~4回のデモストレーション 年長隊ガード少年隊幹部が得て年3~4回のデモストレーション
		体操セミナー （主に上級会員） 換々月間会合	中3年	少年隊員とSSLの連携で新しい感覚を持たせん。
41. 10	合同会議会	中2年 全隊員	10月	年長隊ガード少年隊幹部が得て年3~4回のデモストレーション 年長隊ガード少年隊幹部が得て年3~4回のデモストレーション
		会場見 父 族、教員	中3年	年長隊ガード少年隊幹部が得て年3~4回のデモストレーション 年長隊ガード少年隊幹部が得て年3~4回のデモストレーション
41. 11	シニアスクウトリ 祭典各種保護演 示	中3年 中2年 父 兄、教員	11月	年長隊ガード少年隊幹部が得て年3~4回のデモストレーション 年長隊ガード少年隊幹部が得て年3~4回のデモストレーション
	SST隊長と GST隊長と 監査会	中2年	12月	新規ガード本隊班長と年長隊班長との合同会議会、会場の上班ガ リードする。年長隊ガード幹部が得て年3~4回のデモストレーション
41. 12	SSクリスマス 会議会	中3年	12月	体操室の公開、体操会全員の出席を企図、文化的性を体現した年3 年長隊ガード少年隊幹部が得て年3~4回のデモストレーション
42.	中3年の感想 生活を発表する 風会	中3年	1月	現場校生の感想の体験談を中心に中3年の心象)せりあせり強めり緊張をとほ 1月度。
42. 1	少年隊新年の集いに 年長隊長とSSPLZ グスとして出席	中2年	1月	少年隊と体操部の幹部が得て年3~4回のデモストレーション
42. 2	SSLと少年隊山見 しりの祭り会	中2年	1月	少年隊幹部が得て年3~4回のデモストレーション
	東陽奉仕	少年隊	1月	年長隊ガード少年隊幹部が得て年3~4回のデモストレーション
42. 3	旗手選拔の集い	新高 1年	1月	新規ガード本隊班長が得て年3~4回のデモストレーション
42. 4	上達式	高 1 (中3)	1月	新規ガード本隊班長が得て年3~4回のデモストレーション
42. 5	合同会議会	中3年 中2年	1月	新規ガード本隊班長が得て年3~4回のデモストレーション
	少年隊ハンド会社	中3年 中2年	1月	年長隊ガード少年隊幹部が得て年3~4回のデモストレーション
42. 6	夏の野外活動の 見暮	少年隊	1月	年長隊ガード少年隊幹部が得て年3~4回のデモストレーション
7			1月	年長隊ガード少年隊幹部が得て年3~4回のデモストレーション
8			1月	年長隊ガード少年隊幹部が得て年3~4回のデモストレーション
9			1月	年長隊ガード少年隊幹部が得て年3~4回のデモストレーション

金 額	内 容・要 約
正 常 に つ け て の 保 持 施 行	主に地圖上で説明し、県内をよくよく巡回して見る。旅券、支那を訪れる、産業・農場・博物館・政治上リ建物等に興味ある場所を訪問する。遺稿にちむる長歌の訪問。 上記に加え、あらわす開港、少年、年少隊を訪ねる。
ア 実的考察を訪ねる。	ア実的な陸路・海路を歩いて旅行する。修理人による力、運賃を修繕したり、旅費を立てたりする。訪問先へ、ノベルティの参加
他 の 地 を 行 か る	旅情の宣傳上にとって、旅をしきりではないか。そして大いに他の地でリエクスプロラと遊し合ひ。
カ ま さ う と い う な い が お こ な い	他の陰謀者を退けて2.3.4月の旅を滞在します。他の友人や隣人に詔令を書りを行なはせたり、小説を書く、リハビリで小説を書く、収集会にてよみます。また移行しながら交替で山を訪問します。
カ ス ト リ ー 、 つ づ き の 主 題 の 記 論	カスラー、つづきの主題の記論
リ ッ ト 、 お と ぎ と い う な い	リットル、オランダの詩人、遺稿を、見つけた後、保管して見る。どんな下もりが付いていたり、ほんとうに生き残った詩歌を、おとぎ話の形で、理解する。
リ ッ ト 、 行 く	リットルと一緒に車で行く。田舎を走り、ユースホステルに泊まります。
野 雑 、 い て ま し	また、山道や、川辺を行く。野菜をしたりヌムテに泊まります。
公 国、森 天 火 灯	徒步でも、自転車、自転車でもよい。洲崎口立川公園とか、森林で野営する。户外の自然の変化、冒険のアドベンチャーを満喫することが出来る。
放 て ま し の 戸 外 生 活	キャンプなど、仮小屋での生活を何はないか。経験領域を越すやうにします。
放 て ま し の 戸 外 生 活	廻り上廻り、リバーサイドを行く。廻りで今までたり、廻りで借りたり荷物を組立てたり貯めたりする。 廻りの中間部を展示と公開実験を行ふ。特別活動も併せてもらいたいのである。
放 て ま し の 戸 外 生 活	もし君達の教團が、同じ信仰を持つているなら、宗教上の話もあり、野營、巡礼、黙想等と一緒に向こうことができる。
放 て ま し の 戸 外 生 活	ゲーム、余興、食べものすべてゲストに食りよが音楽する。ゲストは不具の鬼屋、入院中の退役軍人、養老の老人等

警察と開拓会	休日を利用して、正式な懇親会、親睦会を開く。料理も特にスペシャルなもの、音楽、余興も特にこだわるのを用意し、故の出身者、名譽指導者、被監禁者を招待する。
地区活動	地区活動に参加し、地区の主催する特別な活動に参加する。地区協議会の主要な役をつとめる。
運動	スポーツ勝利抜き試合ある種のスポーツとしては、野外放課業、団体個人にかけて行う。近くの学生組く一両日位参加者がゲームを行えるより、リーグ戦を実施する。
他国からの来訪	他の国のエクスプローラーを歓迎する。石炭の家にどまりエクスプローラー知識について交換もあり。そのことは彼が家に帰りアメリカことを伝えてくれる大師匠であるからこそ意味する。

（二）「アスレチック」の範囲

米国人はアスレチックは、より完璧さをもつたアメリカ民族として、内面的レベルに族、在米者、アスレチックの範囲を設け、ついで、外へ向けては、より多くの種別領域を設け、より多く参加したりに向づけている。これら多くの種別領域は、面白味、興味よりも正直、活動の中での「達成感」を意味する。つまり、この型、まずは初めて活動に参加したときに感じられる、して、次第に慣れて、苦い感覚、したがって、やがて「達成感」が、徐々に育んで、成長していく。つまり、一種の心地よいものにつながる。

社会的領域	誰かが「大物」が何かの人々と友人：親類、父、母、姉妹……と連絡を取る、あるいは、何かをするのを助けるに立つか？ 個人的な人望を増すのに役立つ仕事か？ 正しい礼儀と作法の知識を教じてくれるか？
精神的領域	政治的、一般的な議論や、特別な手本を研究して周辺社会を振興して、何とか？ もとより、将来の職業に関して、自分の適性や能力を考慮するのに役立つれるか？ 運営に貢献に必要な教育やトレーニングを受け入れに役立つれるか？
技術的領域	技術者は、専門での冒険心やレクリエーションのためにえて、何とか？ 機械を通りて大自然の資源を活用し、また自然への感謝の意を引き出すに立つか？ ソリューションクラフトを進歩させてくれるか？
個人的領域	活動が、身体的、精神的、精神的健康を通じて、自分自身を助けるに立つか？ あるいは、他の人に役立つか？ 活動は、自身の集中で公正に対して、積極的な能力を磨いてくれるか？
奉仕領域	活動は他の人に對して、物質的な報酬に求めないか、援助してくれるか？ いかに他人をあたえてくれるか？ リーダーシップを重んずる精神を援助してくれるか？ 自分が世に立つ人間であるといふ感覚を抱かせるか？
社会的領域	活動はわれわれが、米国人の尊厳と民主主義の遂行をよりよく理解するのに役立つか？ 米国人の権利と同時に、その責任をも認識する力に役立つか？ 活動、実行にあたって、米国人の民主主義のやり方や標準を実施するうえにはじこじを取ってくれるものか？

公賣李社華

河川緑化奉仕
小洋球ハイク、キャンプ奉仕
技能草研修会の開催
地区活動の奉仕
県津行事の奉仕
ジヤンボリー奉仕
災害出動 常時のトレーニング
災害出動に備えての必用器具
交通整理
ロータリ、ライオンズ、奉仕
老人小人奉仕
施設慰問
特殊施設の慰問と奉仕
学校整備
花いっぱい会へ役力
赤い羽根 緑の羽根兼金襷力
公園の整備・綠化に役力
密林草木の奉仕・植林
海岸・川岸急険防止
日本救援總訓練り奉仕
救援講習会の開催
消防活動の奉仕
勤所巡回役力
都市間保健事業役力奉仕
町内会への役力奉仕
□美化、新生活運動文役力
家庭修理
△ハエ撲滅運動奉仕
新入隊募集会奉仕
ポスター製作
階下らしいゲームを考案し少年隊ハ
野鳥保護
動物愛護運動
市野球場の改善
水源地の監視・探査
道路の補修
寺院 教会への奉仕

子供会の主催
ラジオ・ターリーの研究と企画
集会
赤十字精神の研究
青少年赤十字と企画集会
母の日、父の日ノ集い
敬老会ノ奉仕
隊集会上の改善
スカウトルームの収蔵
災害用物の備えと通信訓練
義務救助訓練
SSTの主催教導講習会
非常用集訓課（家庭で野戦避難）

卷之三

以上日英米スカウト文献参照

企画本図会 分科一覧表（企画のための一五〇ノヒント）

野 外 活 動	室 内 活 動
<p>野營の企画と研究。 ハイキングの企画と研究。 野營用品の管理、整備。 新らしい野營用具の考案。 野營工作の研究工夫。 キャンプ地の探し発見。 テントの研究・設計 模型制作。 野外料理 炊具の研究。 開拓工作的設計と作業。 リンクスの製作、ピバーク実施。 ノスリの時間ハイクの企画。 車両旅行の企画。 夏期遠征旅行(移動野宿)。 一泊小旅行の企画。 ボート、ヨット訓練。 伐木実習。 キャンプハイク個人用品、携行技術。 登山訓練と用具の研究。 スキ訓練 雪中キャンプ。 水泳訓練。 樹木、野草、野鳥の研究。 星座研究。 愛鳥、天鵝団の研究。 モータバイク・自動車訓練。 測量実習。 高度の日本ゴルフ。 園芸、農事実習。 工場見学。 ロツククライミング。 海へ出て航海する。 移動野宿で県内全般を歩く。 水源から河口までの探る。 化石的古跡を深める。 牛、馬との旅行。 燃油に走かける。 アイヌ等の民族研究。 魚釣りを中心とした週末野營。 こんな山林ハイク。</p>	<p>カメラハイク スケッチハイク 水場訓練 森林省巡回事務所訪問 御土についてすべてを知る 仮入隊・少年隊ハサミ指導 雪向の調理師を回んで講習 レポート技術の研究 想像的キャンプ場のパノラマ作り。 同。 故事場の模型。 大規模なワイドゲーム ツアースキーによる冬の移動野宿</p> <p>討論会の企画 趣味活動（短歌俳句） レコードコンサート 音楽会への参加、主催 演劇鑑賞、研究、主催。 管楽用スタンプの研究 シニアトループのパーティ(夕食会、お茶の会) お婆さんお父さんが来招待のパーティー 友引団体の訪問・招待 スケーリング・リース 世界秋田・秋田百合会 コレ... 近大へ スライド、2mm映画の撮影・編集 文学の研究（輸説） 日本文化論と洋文 近江史の研究 デッサン、絵画の研究 市政、県政の研究 議会研究 懸念問題の研究 公共機関の見学(裁判所、郵便局) 工場の見学 各種大会 動物研究、飼育 柔道、空手の研究 文会講話会 日本ノリヘンバル運動 バンド結成と演奏执行 フィクション・スタイルアダインス 信者説教 外國語の研究 ラジオテレビ研究 アマ然認局の開設 模型製作 ビレモニル研究、演出 新聞紙の発行、新聞の発行 河川地図の作製 鋼琴訓練（副達のキム）</p>

今 級 文 学	テ - ザ 名作の鑑賞	テ - ザ の書 賦 楽 史 古今の名作を鑑賞し、文学に対する正しい知識を深めると共に、作品を通して人間或いは人生の問題を研究し討議する。	の経験者をやけているがを解説する。
美 術	演 上	古今の名作を鑑賞し、併せて時代の移り変る美術の表現法（構図、構成、色彩、形等）について理解する。 古社寺の聖母、美術展覧会等で実物の鑑賞する外、補助として複製画、幻灯画の利用。 描画法の基礎能力を養い、上手く正確に出来る様にする。観察力の練磨に役立てる。	訪問者 沼八郎志 学識経験者、文化人、教育者等より話を聞く 話の内容について討論する。 人間全体から受けた感銘を大切にする。
	・ズルチ術 ・淡彩画の鑑賞方		
音 楽	名曲の鑑賞	主として19世紀以後の名曲を中心にして、音楽の種類、形式、楽器の特性や組合せ、構成等の理解を深める。 日本古典音樂の鑑賞	
	癡声と合唱	正しい声の出し方及び各種の合唱の練習、読譜力の養成	
演 剧	鑑 賞	劇の鑑賞と共に、演劇の作り方を深求すると共に、その魔を通じて人生或は社会の問題を考える。	
	演技の研究	劇の表現法の研究 舞台美術の実際知識を学ぶ。 演出入りの研究	
映 画	鑑 賞	上へ作品を鑑賞し鑑賞ある。 作動の秘密について討論する。 劇映画の現象と潜在的な何が問題的なのか、何を訴えているのか。 作者の立場は防衛にあるのか。 記録映画の場合は報道の内容をどう受け止めらるか、何がわかつたのか。	
見 学		現代社会に属してゐる批判的、内部の組織機能を知り、如何に入力助さなど	

年間アピタラバ巡り

努力目標	実力アリ 標榜					主に伝統、沿がん					試験会開催		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
テーマ	隊旗操、隊歌、訓理、健康安全、遠征					渡航、前回、後方、通話				健康安全、放送、報紙新聞			
室内	わが家のアス スカラシング のアス	班集会日程 り方	職立アドリ 方の研究 加リ。	地図、座標表示 スマートネス ビタミン、 水分。	連絡スマッシュ 報告	深呼吸、 人研 体操もとの 五割りバー ティ。	練習と 人年 (話しあい)、 面倒見取り又 は面倒見回し。			映画上映会 (静かまい)	B.P.と生徒、 日二バズル 話しあい。		
野外	キヤンブ ノ泊2日	同左	キヤンブ野 外研究	キヤンブ ダンバー、 ツイスト、 ホルダス、 ブワーク。	宿泊研究及 遠征キヤンブ	一泊ハイク、 スキンシナフリ ング。	同上	通話 モーリス	同左	耐寒キヤンブ ノ泊2日			
奉仕	配合準備、 教則指導 測量。	教育スペイン プログラム準備	教育キヤンブ隊の運営 プログラムの整理	教育キヤンブ隊の運営 準備	高齢者向け、 少年隊ハイク リ本位	老人ホームクリ スマス	新年祭の準備	肥沃地栽培 課り本位					
特別活動行事	上達式、 入隊式、 誕生日	開会式集合	富士野球参加 遠征X々、ワ 久泊5日	新所長次 就任式					スキーチーム 2泊3日	B.P祭			
備考			準備訓練は、 月より始まる。 のアカウガ、 今月はは上を 目標とした訓 練。	印鑑登記と 被服への配 達。					新年度の計 画作成	新年度計画 立案。			

月間プロクラム

○ 目 次

○テニスの歴史

グループ活動（場所時間）

(新疆、西藏、雲南、貴州)

Aug 12 - Secret Troop 81

（） さて、先日 RV-1 口「ラムを用意する」掛けていたりし時、思ふに及ばず、手に持つマグのラムを握り、小さないないす、彼等会合：人の割合、平凡だものにはなし、アーヴィング、シドニー、ジョンソンを心に止め、会合に出席し、あるいは、やうやくハミング、行員が無理のタクを渡すと、忠告し、纠正して要件通りに仕事してもらうべきである。

（） これが、ことによつて、隊長が直隸出陣するよりは、わづと入へ去る前でいるのだと、いりことを勤らなければなりない。

③ くりウタ。六千石城のハニコ

（ア）小滅すること、倒壊すること、反射すること、などにより、
「人間性を平衡へゆること」である。

「吉田の22歳」に向かう見ない。被写は判斷力と感興、そのために
吉田の22歳は、22歳なり。これまた吉田の22歳である。

（三）「新規」の開拓と「既存」の開拓

少年、年長 進級課目の解釈と適用

44.3.10
(SS.研査)

決定の日付

主考官の名前	久野正一、曾我
参加成績	曾我
役	審査官
連絡の担当	伊藤
考査	審査官
面接	審査官
記録の段子	審査官

考査、面接の担当

原則 751, 752.

考査の原則を規定したもので進級課目及検能草課目共通のもので、規定第一条及第二条の 運動の目的と方法の規定、実施 752条に考査の範囲が 能力の測定とスカウト精神の実践の主張即ち能力 実践の認定を主眼へ從つて暗記や参考書の写しの様なレポートはだめ、必ず体験の経験したものでなければならぬ。)

基準 753条

加減性

考査課目は被査は個人の状況の下で一律には行なはが、その課目の内容は修正する限り下で行ひ 最底基準通りは達してはならないと言つるものである。そのことは 考査考査の命綱は その課目の入口であつて、立候成の推進 限りなく進行を期待すると立てられるから高次の解釈は求めば生ない。

最高課の解釈 一般解釈の例

どんな人間でも、検査を受けても、出来はしない。自分でやつ

て出来る事を要求している。口で説明したり、絵を書いて説明するのではなく、その技能が本当に複雑かつ高度で行ななくとも、複雑化する前段の工程これを認めてやると言うことである。課目の規定を踏まえ読みながらそれを最も大きくした感 部分最高課を取らないことを言う。

特徴検査は 一般レベルより一步前進した検能課題にあたりられるものである故に、最高基準を破つては、その権威は失はれる。

考査の責任者 754条

進級考査の責任者を明にしたもの

考査の方法について見てみると次の方法がある

- I スカウトの申出により 勝負自ら考査する。
2. その他都度適当な人に依頼し考査してもらう。
3 特定課目について、緊密に申出なくとも、平常から特に一定の人を定めておいて直接その人に申出て考査を受ける。
4 勝負に申出なくとも、キヤンナ、ハイク、作業 ゲームの時 勝負又は勝負が委託した人がそのリテラクを担当する。

(考査に勝敗とされ難い事は理解する)

- II 上記の様に色々の場合があるのでせよ 濃遇の問題の責任者にさせられなければならない。自ら考査せない場合でも、その事を理由に責任を回避することは出来ない。

又如何なる方法で考査を実施しようとも、その状況が スカウティングの目的とさ背に適合したものであると言ふことに、所長は責任を持たねばならないと言つておかなくてはならない。

最高課の直承 755条 検能系の責任者は上間にしたもの

327条の規定に依り 正式に確認した検能課題にてして考査は出来ます。このために 地区スコアは検能課題と連絡と言つては検能委員会の一大任務であります。

是れ、地区はスカウトの要求に応じらるるより、又容易に考査が受けられるよう、

が違う講すべきである。

技能量に於ても 751 条 752 条の原則と 753 条の基準は叶わなければならない。その際には委員会は慎重であり、且基準通りの審査会を必要とする。

○ スポーツが課題に合格の度合と審査の合否を認めてから、チェックを重ね、全部合格すれば、審査員は隊員に審査に合格したことを書かれる。隊員は監査官長に審査書提出を申請し、監査官は証明により技能量を入手する。

○ 審査の主眼とする所は 実績検査と業績審査。 課題によつてレポートによる場合がある。同じく場合も実力と業績の監査を兼ねることを忘れなければならない。

○ 技能量においては規定上面接は要請していいない。 そのことは会員通報により各格面接に代る審査の再確認を意味する。 かつて審査員が夫々の課目につき審査判定の権威を有することを前提とする。

面接 756 条 面接の原則を規定しています。

- この目的(1) 課題審査の結果 合格した事を認証し、異議を付すること。
- (2) そり課題に合格した事に自信を持たせること。
- (3) 更に一段の進歩向上を激励すること。

以上の三原則が本旨である。 かつて内審査でもなければ、学校、就職の際に強い響きの目的ではない。

達成条件としての面接 757 条

面接が達成の為の一手段であり、必要条件であることを規定しています。技能量に面接がないのは軽視している力でなくして、達成条件と技能量は上級に進むに随の間隔が深くなること 特に達成の為に面接を設けて技能量獲得を容易ならしめるもの。

面接の区分 758 条 面接の区分の規定

面接を大きく 2つに区分している。

國に面接委員会をもつ

○ 國の初級 2級 1級 國の面接。

州県道の連歩委員会の責任の下で行なうもの

BSの面接、SSの面接、ヨコハマ市。

・國に委託運営 … おおむね実施しないことを明示しているクラスである。 して各都はらしめることを知らつたもの。

又その方法が規定されていないので 個人國の審査を果すために一律に規定することが不适当であると考えられながらである。

府県、地区の委員会の責任の下 といつのは 連歩委員会自らが面接を行なうことを意味せぬ。

県連、地区、國に面接委員会を併せてやらしても、いずれの場合も必ず連歩委員会の主導の下に行はれるのをなければならぬことと、その責任は連歩委員会にあるといふことである。

少年駅、年長の車 審査はより大きな組織からの高い激励をあたえ入一等の努力に答えるためである。

並兵の時期は規定されていないが 出来と値り早く…は当然である。

大人の都合で上達をばらさないことが大切であり、三原則の高揚されることは これまた当然である。

面接委員会の設置の規定 759 条

如何なる形で設置するかは規定されていない。 かつて如何に設置するかは、地区に設置せしめるかは、府連の連歩委員会がは務として決議設置されるべきである。少年駅、車、馬士も如何なる方法ですべきかも 連歩委員会を決めるべきものである。

又府連の方法に従い どこ連を府連、地区との地方に即した方法を定めるべきである。本系は面接の地区の設置を規定し、その内容は地区がは務に定められている。が 面接の東則を念頭に於て 人選を行なうことがえりである。面接には 組織外の名士の臨席を仰ぐのも一方法である。

日録手記 7月10日

- 午前 今年ノスカウト式正、議長より面接委員に申請
登録審査アドミー、技術監修 (面接委員会委員)
- 午後 佐賀県 時計を通じて早速に。・(地区技術会場)
馬主スカウト "早速を注て日速に。"
技術監修会場能手の候。

日三種類の活動による前回の審査にてより云い組織により面接を更に記載の
段々を行なう事より改められたのである。

換手の交換の発見

以上述の通りで、何より方法は想定はない。

251 算の差額と同様、状況考慮の上行け

面接委員会

① 面接の結果の翻訳と検討する。

審査の考査の結果の確認に止まらず、スカウトの双方の結果を確認づけた。又、車に技術面のみではなく、多方面「おきて」の実験がどれほど良いか、何よりの記録も忘れてはならない。

② 計算をもたらし、査定を保し、選考をめに文面。

僅かに正確は求めどもつきない。スカウト精神の高い深いものであ
ることを明らかにすることも大切である。

區々 上述の通りである。会場はなるべく一定の会場がよい。面接者、
面接委員の都合のいい場所、スカウトに有利のある場所、スカウト的
装飾のある場所、和やかな雰囲気

面接会の構成と主持 (例) 国の場合は

・司会 事務處理

(国の面接委員の団委員又、議長)

・主として進歩關係、団委員長(副)、議長の経験ある団委員、及

換手重考重視

- 本人の生活、態度に関するもの、歴史の言葉。

國委員 判官会員 有識者、実業、地政役員、他団リーダー

地区的場合 県会 市町村会

准進歩委員会 委員

主として進歩開拓、地区 'Law' A 'Law'

本人の生活、態度、萬万の言葉… 地区委員長、財主役員、有識者、果實、
面接委員会の事務處理 國の場合

1スカウト手帳、終庄表の整理 2 院の進歩記録帳の整理

3面接委員会の認真、会場の設営、運営等

4面接資料 5面接の結果は報告書により地区進歩委員会に提出する。

地区の場合

F 地区は面接用語書、面接調書、準級統計を提出 地区進歩委員長に面接
委員会の開催を申告する。

地区進歩委員長は 面接員の構成、招集、会場決定、準備、連絡、直ち
の打合せ、任務全般の確認を行ひ。

面接事務は各自に担当すること(合否の決定、報告
書の作成)、並に提出する。

面接委員会の実務上の留意点

1 和やかな雰囲気 (スカウトの魅力としこん性とすべきで「あこ
がり」と喜びと、自信とを抱たる場であること。

2 再審査なし、誤算の結果の確認、努力を認め、向上よりとする意
志を示すもの

3 注意事項は、終局の上合意して議長に渡して行ひ。

スカウトの直面で合否を相談したり、議長の指揮方針に反するよりは指
示をしたり、スカウトに議長の説きを訂正するよりは事はしてはなら
ない。

・服装等。

4 面接委員会で合格を認めてないのは次の場合である。

- A 落ちの道徳が未熟なため スカウトの技量、態度が十分ではない。
- B 本人にてきりについてないので、疲れてしまつていてる。
- C 疲れ、前段、が足り、スカウト的でない。
- D 正当に落ちたとして面接委員会に通報した。

5. ①特に先天的な事はないが、年令等について簡単に上うなが
本人は直前にそのてきりの技術でカバーしている。

②大人の�断や他の運営上どうしても連絡させることが必要である
場合は

以上の場合は、原則に専長と話しあひを通り、態度を決定して
から面接委員会を行い。

面接委員会の面倒例　主張つかせりとめて下記の内容を聞く。

1 可能者の氏名、団、隊、班、役職。

会社　職業　又はスカウト手帳の提出。

2 生活状況（家庭状況から始めて本人の先を和び家庭をつくる）

住所　面接会場への通順、距離、時間、利用交通状況

家族　兄弟

保護者の職業　家業、

教科リポート　スカウトに対する理解は

日常生活

3 健康生活

現在

最近の学校の成績は... それについての原因は

酒類など飲んでいたりするときらいで学校　その理由

クラブ活動

ボーリングスカウトであることを教師や友人に知っているか

どのよりに感しているか

6 個人生活

長所　短所　短所を補つていくための努力は
読書、音楽　映画を興味

特技

交友　仲の良い友　何人　何歳　性別、年齢、性別、

交友についての内側（交際のしがた　活動の拒绝　交友のこ
事性）

7 精神生活

他人の善行で感心した話。

社会の一員としてどのよりに奉仕するか。

どの様な職業をのぞむか

愛国心について

8 スカウト生活

入隊以来、今日までの思想

入隊の動機は

考査課目について思想　特技　考査法など

スカウトとしての心構え　役職について

9 宗教

宗教の信教は（信合の信教は）創始者、儀儀は

世界の主要宗教は　日本の宗教　宗派について

神、仏、に誠をつくすとは

10 最初の質問

感想に対する要望

1 家族的であること

指導者が達成や考査にふるげんに態度は　その活動や、
スカウト自身に悪影響をあたえる。

又 締きの図書室の上に立つて お読み

り、廻船ではござるまい。裏立たない。反面重い通つて壁にアタ

マニヤ。

又 おはな船をうかうか

船アスガットニ物 お記録 連が記録 おおまかにいふれば
舟アスガット記録が進歩は、スガット自らの記録である。アヌア
ある。

又 頭脳運動会についての指導

國ぐるる在 てもさりんとした態度で

整即確 既て表の確認

服即 着用 正装

到着空港会は取次するものであることを判断せよ。

便 二 16:00 て、朝でない。国でモウけじめにこじまつ
やつ てよ。